



2月食育だより

令和5年1月31日

陸別町給食センター

赤川牧場さんに黒毛和牛を寄付していただきました！

令和元年度に引き続き、今年度も黒毛和牛50kgを寄付していただきました。今回の寄付にあたり、赤川牧場さんに取材に行ってきました。その中で「陸別町の子どもたちに和牛を美味しく食べてもらいたい」という熱い思いがあることを伺いました。赤川さんの思いを受けとり、感謝していただきます。

赤川牧場について

上陸別にある赤川牧場の代表、赤川雅臣さんです。



いっぱい牛乳を飲んで、牛肉を食べてください！

約470頭の牛を飼育しており、そのうち140頭が和牛、その他ホルスタインや和牛とホルスタインの交雑種がいるそうです。



牧場では、和牛の飼育・販売、乳牛の搾乳などを行っています。



和牛の評価「〇〇ランク」とは？

今回寄付していただいたのは、A5ランクのものです。

このA5ランクなど、和牛の評価にはどのような意味があるのか、調べてみました。

「A」

アルファベットは、牛の体から内臓や骨、皮などを取り除きどれくらい肉がとれるかを評価します。Aの評価が一番高く、その下にB、Cとランク付けされます。

「5」

数字は脂肪の交雑（サシ）や肉の色、締まりなどの項目で評価します。5の評価が一番高く、その下に4～1とランク付けされます。

⇒A5ランクは、最上級のものだということがわかります。

※年間約90万頭の牛がランク付けされて、そのうち20%弱に最高ランクのA5がつけられるそうです。

寄付していただいた和牛

2月3日（金）の牛丼に20kg、

24日（金）のステーキに30kg使用します。



和牛は「血統が命」

和牛は血統がとても大切だそうです。血統とは簡単にいうと、先祖からの血のつながりです。なぜ和牛では血統が大切かというと、和牛は遺伝による影響が大きいからだそうです。祖父母、親牛の遺伝によって、産まれた牛のとれる肉の量や脂肪の交雑などが決まります。

そのため、血統がよいとA5ランクの和牛のような評価が高い肉がとれるそうです。



牧場内には、父、母の祖父、母の曾祖父の名前が一目で分かるようシールを貼って、管理されていました。

個体識別番号とは？

耳についている番号



和牛は産まれた時に、個体識別番号を付けられます。この番号で、親牛や生年月日、どこで育てられたか等知ることが出来ます。番号をつけて牛の情報を細かく管理するシステムがあることから、和牛は血統がとても大切であることが分かりますね。

ちなみに、スーパーなどで売られている和牛（国産牛）にも表示させており、インターネットで個体識別番号を調べると牛の情報を知ることができます。

赤川さん、寄付や取材を快く受けてくださり本当にありがとうございました！！